

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.8.14
担当	課名 にぎわい創出課
	グループ名 地域振興グループ
	記入者名

<b>1 事業概要</b>		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業			
(1)事業名	結婚応援事業費	(5)予算・財源等の別						
(4)第5次総振での位置づけ		①会計区分	一般会計					
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	②財源区分	国補助					
②大項目	子ども・子育て支援	③予算科目	款	7	項	1	目	2
③中項目	子育てしやすい環境づくり	④予算事業名	結婚応援事業費					
④施策	結婚・出産支援	(7)総合戦略						
⑤施策コード	5.3.3.3	掲載ページ	86	ページ				
(6)実施根拠		①総合戦略	結婚新生活支援補助金					
①事務分類(自治・受託)	自治事務	(該当事業名)	婚活イベント事業補助金					
②根拠法令	小川町婚活支援事業補助金交付要綱	終了	未定	年				
③事業期間	開始 平成28年 4月から							

<b>2 事業の目的・対象及び内容</b>		(3)手段(内容・どのような取り組みか)	
(1)目的(何の目的で行うか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の出会いの機会の充実に取り組む事業として、町商工会等の安心で信頼できる主催者による「まち婚」を開催し、開催地の縁から始まる町内移住を推進する。</li> <li>・新規に婚姻した世帯に対して婚姻に伴う新生活を始めるために必要な費用を支援することにより、少子化対策の推進と若年世帯の移住や定住を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会青年部に婚活イベントを企画運営するための事業費を補助し、若者が小川町に興味を持ってもらう内容の地域色豊かな婚活イベントを実施する。</li> <li>・結婚新生活支援事業補助金交付要綱に基づき、支援金(補助金)を支給(交付)する。</li> </ul>	
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小川町に興味を持つ町内未婚者や町外未婚者</li> <li>・小川町に居住する新婚世帯</li> </ul>	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)	
		小川町で開催する婚活イベントをきっかけに町に興味を持ってもらう。町内参加者は結婚後の定住、町外参加者は思い出の地としての移住先候補にしてもらうことにより、若年世代の人口増に繋がる。また、経済的支援を併せることにより、定住や移住がより一層推進される。	
対象数	参加者数	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県は、出会いサポートセンターを設立し、未婚化や晩婚化による少子化への対応を推進しているため、県事業との連携により、全国へ小川町の魅力発信の可能性が広がる。</li> <li>・民間事業者による婚活イベントが実施されており、公費を投じたイベント開催の必要性に課題が残るものの、地元商工会等の安心で信頼できる主催者による「まち婚」を開催する意義はあるものとする。</li> <li>・若年者の町内への移住や転出の抑制を図ることは、町の人口減少の抑制に寄与する。</li> </ul>

(6)SDGsへの貢献


**3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)**

項目	(1)事業(内容)名称					
	結婚応援事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	補助金(婚活イベント)	345	0	37	340	345
	補助金(生活支援)	0	800	1,564	543	3,000
	負担金	40	40	40	40	40
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	385	840	1,641	923	3,385
(3)財源内訳	国庫支出金	0	400	1,042	362	2,000
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	385	440	599	561	1,385
	合計	385	840	1,641	923	3,385
(4)補助金名			地域少子化対策重点推進交付金	地域少子化対策重点推進交付金	地域少子化対策重点推進交付金	地域少子化対策重点推進交付金
(5)人件費						
	投入職員数	0.15	0.2	0.2	0.2	0.2
	年間人件費	1,157	1,528	1,526	1,508	1,539
(6)総事業費		1,542	2,368	3,167	2,431	4,924
	サービス量(人)	65	0	0	38	40
	サービス単価	24	-	-	64	123
	(単位)	千円/参加者1人当たり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		結婚応援事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	参加者総数	目標値	人	70	70	40
		実績値	人	—	36	
		達成率	%	—	51.4	
	町内参加者数	目標値	人	35	35	20
		実績値	人	—	—	
		達成率	%	—	—	
(3)その他指標に現れない成果						
町内の店舗(5店舗)を活用した開催により商業の振興や店舗の魅力発信に寄与したとともに、地域で街コン参加者の後押しをする雰囲気を作ることにより参加者の満足度を向上させた。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他(定住促進や少子化対策等と複合的に展開しないと効率を図り難い)	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(民間で事業を実施しているが、主催者の堅実性が必要である)	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(町内商店の活用)	
公平性	受益者の偏り	3	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	3	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他(対象者は限定される)	
有効性	成果の向上	3	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(会場の都合による参加者数を抑制したが、質の高い運営を行えた)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
・婚活イベントの参加者総数は抑制したものの、町内商店の振興に寄与する仕組みづくりが図られた。手作りで温かみのあるイベントを継続していきたい。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	結婚応援の所管課の疑義はあるものの、調整しながら継続していく。					